



学校だより

～学校評価特集号～

令和4年度 第3号
令和5年3月10日発行
香川県立聾学校

今回の学校だよりは、今年度の学校評価アンケートの集計結果について報告します。
アンケートへのご協力ありがとうございました。

各部の評価

	目標(課題)	取り組みと結果	次年度の課題・改善策
幼稚園	やりとりを楽しむ視覚情報・掲示物の工夫	○各教室内に保育活動や行事に合わせて、写真や掲示物、掲示場所等の工夫をした。 また、タブレット等の活用も積極的に行った。 ○写真を活用した掲示は、他者とイメージの共有を図ることができ、やり取りをする場面が多く見られた。日めくりを利用したことで、何度でも繰り返し見て楽しむことができた。トンネルを使った掲示や1年をかけて子どもと作り上げる掲示物等は、子どもの興味関心が高まったり、子ども同士の関わりが増えたりした。 ○これらの活動を通して視覚情報の有用性をさらに認識できた。	・引き続き、やり取りを楽しむ視覚情報・掲示物の工夫について、研究を進める。 ※掲示物、掲示内容 ※掲示場所(位置) ※掲示の期間 など、検討 ・保護者学習会の内容について、検討し、保護者のニーズに合った学習会を目指す。
	「自分でできる」喜びやうれしさを感じられる支援	○実態を把握し、保護者の願いも踏まえて、個に応じた目標を作成した。全員で共通理解を図り、相談しながら支援を行った。 ○少しでもできるようになると、自分でしたいと、時間がかかっても自分でやろうとする姿が見られた。 ○子どもの小さな「できた」を受け止め、大いに褒めるとともに教員全員で子どもの成長を喜んだ。	

	目標(課題)	取り組みと結果	次年度の課題・改善策
小学部	言語活動の充実とコミュニケーションの拡充	○体験や実践を通して獲得できる語彙を増やすことや、友達と話し合うことを通して、相手の考えを想像して理解したり自分の考えを整理したりできるような取り組みを学部全体で行った。 そうした活動を通し、言葉がより具体的な生きた言葉として獲得できたり、話し合いの基礎的な力を養うことができたりすることにつながっている。	・引き続き、言語活動の充実とコミュニケーションの拡充を目指す。 個に応じた取り組みをより充実させる。日本語文法指導も個に応じて継続して取り組む。
	社会性を身につけるための取り組み	○児童に関する教員間での情報共有や連携はよく取ることができた。そのうえで、部全体でキャリア教育を意識した、将来を見据えた教育活動を実施することができている。	・特別支援教育での進路について情報を集め、理解を深めていく。

	目標(課題)	取り組みと結果	次年度の課題・改善策
中学部	生活力・学力の向上	○生徒の実態を把握するため、職員全員で生徒一人一人の目標と課題を出し合い、自立活動や生活面での指導につなげた。 ○わくわくワークの時間を設定し、働く力、生活する力をつけるための指導を始め、意欲的に集中して作業に取り組めるようになってきた。	・生徒一人一人の実態をしっかり把握し、それぞれの課題を職員間で情報共有しながら、授業改善に取り組む。 ・個々に応じたコミュニケーション手段で、相手に分かりやすく伝える力、情報をつかむ力をつける。 ・体験的な学習を通して、自分の課題を理解し、改善していくことで、主体的に考え行動する力をつける。
	コミュニケーション能力の向上	○1分間スピーチを毎月実施し、スモールステップで表現や発表の仕方を磨き、語彙力、表現力が身に付いた。 ○介護体験の大学生や外国人講師との交流の機会をもつ中で、調べ学習をしたり外国語で自己紹介したりする経験を積めた。	
	生きる力・自立の力の育成	○職場体験学習を2日間体験し、自分の目標をもって主体的に取り組むことができ、貴重な経験を積むことができた。 ○近隣の特別支援学校や中学校との交流学习を実施する中で、自分の障害について理解してもらい、集団の中でコミュニケーションをとる力や周りを見て行動する力などに成長が見られた。	

	目標(課題)	取り組みと結果	次年度の課題・改善策
高等部	一人一人の進路目標の実現を図るために、個に応じた丁寧な学習指導や指導方法の検討を行う。	○3年生全員、希望する進路先を決定することができた。 ○概ね、個に応じた学習内容を設定し指導方法を改善できたと思われるが、さらに朝学習の内容も含めて、何が生徒のためになる活動なのか検討する必要がある。	・今後も一人一人の進路目標の実現を図るために、卒業後の自立に向けて必要な事柄を精選し、個に応じた学習内容や指導方法を検討する。 ・社会で活かせるコミュニケーション力の向上のために、高等部全体で取り組みを行う。生徒が自分に合ったコミュニケーション方法を確立できるよう機器の使い方も含めて指導を行う。また、交流、校外学習などを積極的に取り入れ、相手に伝わるコミュニケーションや支援を依頼する練習を行う。校内でも生徒会活動などでの積極的な話し合い活動を推進し、相手の気持ちを考えたコミュニケーション力を高めることができるようにする。 ・各種検定試験の受検、体験的な活動への参加を促す。 ・保護者からの相談を受ける場の設定を工夫する。
	卒業後の望ましい対人関係の構築のために、個々のコミュニケーション力を活かす取り組みを進める。	○高等部の生徒一人一人の課題を共通理解して指導を行った。 ○個々の課題に、修学旅行や現場実習、他校との部活動、交流などの際に取り組んだ。生徒一人一人のコミュニケーション力の向上につながったと思われるが、今後も機器の活用や自分を知り支援を依頼する力の向上を目指すなど、継続して指導していく必要がある。	
	部活動や各種検定試験の受検による自主的な活動を重視し、生涯学習・スポーツにつながるような意欲・態度を育てる。	○今年度は全国聾学校卓球大会が本校主管で開催され、代表挨拶や宣誓なども含めて出場選手にとっては活躍の場となった。 ○ビジネス文書検定や漢字検定を積極的に受検する生徒が増え、生涯学習につながる取り組みができたと思う。	



学校評議員会・学校関係者評価委員会から

令和5年2月17日（金）に第2回学校評議員会が開催されました。
学校関係者評価委員会も兼ねており、学校評議員4名にご参加をいただきました。



〔各評議員等の方々のご意見やご感想の一部を抜粋してお知らせします。〕

【本校の教育について】

- 2年間評議員をしているが、聴覚障害がある子どもにとって、コミュニケーションは難しく、そこを重点的に取り組んでいるのはとても良いと思った。
- 私はろうあ者ですので、日本語の獲得状況が気になっている。手話での話は分かるが、書き言葉はどれくらい獲得できているのか。私の時代よりはよくなっていると思うが、学年相応なのか、開きがあるのか、とても気になっている。筆談でコミュニケーションを取ったり、メールを打てたりすることは大切。伝わらなければ、仕事も難しい。
- 地域の学校の難聴学級に行った子どもが、高校生になっても文章力が伸びていないという印象を受けている。聾学校の先生が、しっかり文章を書いたり、読み取ったりする力を密に練習していることは大事だと思った。
- 子どもたちの絵日記などを訪問に行ったときに見させてもらっている。病院でグループ訓練をしていた時に、その日の連絡帳に写真を一枚貼り、お渡ししていたこともあった。聾学校でやっている手遊びや活動内容を教えてもらえたら訪問の際に一緒にやりたいと思う。

【防災について】

- 携帯電話は災害時に非常に有益なツールである。常識的な使い方は大切だが、早いうちから使い、自分で対処できるということも大切。目的をきちんと説明して自分で考えて行動する力が必要だと思う。
- 私自身が防災アンケートを取ったときに、命を守ることと子どもや家族の安否確認をいかにスムーズにするかが大切だと思った。特別支援学校は、子ども当たりの教員数が多い。ICTを使うなどいろいろな方法があるので、そういった訓練を試みるのもよいと思う。

【学校評価について】

- 「ここが足りない」という評価をもらった方が次に活かせると思う。そうした意識を持つとよいと思う。次年度への評価改善がどの部にもあり、それを意識して次につなげていけば、よりよい教育活動ができると思う。
- D評価や？評価については、必ず理由を書いてもらってはどうか
→意見の記載欄は設けているが、匿名のために難しい状況

この他にも、貴重なご意見を多数いただきました。学校で改善する必要があるものについては、すでに検討を始めているものもあります。今後も、学校評議員会にてご意見を拝聴し、検討および改善を進めてまいります。

令和4年度学校評価表（幼稚部自己評価）～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 幼稚部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 様々な体験や人との関わりを通して、学校生活や遊びを楽しむ、自分の力で頑張ろうとする子どもを育む。（部全体）	6	1	0	0	100%
② 一人一人に応じたコミュニケーションの基礎の力を養い、伝え合うことを楽しむ子どもを育む。（部全体）	3	4	0	0	100%
③ 基本的な生活習慣を養い、健康で明るく生き生きとした子どもを育む。（部全体）	4	3	0	0	100%
II 課題取組に関する目標目標	A	B	C	D	B以上
① やりとりを楽しむような関わり（子どもの気持ちの理解・受け止め・共感）をする。（各個人）	2	4	1	0	86%
② 個々の実態を把握し、それぞれに応じたコミュニケーションの支援を行う。（各個人）	2	4	1	0	86%
③ 子どもが興味をもち、やりとりのきっかけとなるような掲示物等や視覚情報の工夫をする。（各個人）	2	4	1	0	86%
④ 個々の幼児の目標を、「できる」をめざしたスモールステップで設定する。（各個人）	2	5	0	0	100%
⑤ 目標の共通理解を図り、個に応じた手立てや支援を行う。（各個人）	2	5	0	0	100%
III 学習指導（自立）における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 子どもの聞こえ等に配慮するとともに、言語力の向上に努める。（各個人）	2	3	2	0	71%
IV 交流及び連携に関する目標	A	B	C	D	B以上
① 学校間交流や居住地校交流では、交流先と連携し、同年代の幼児と触れ合う楽しさを味わえるようにする。（部全体）	1	4	1	0	83%
② 家庭や関係機関との連携を丁寧に行い、子どもや保護者への支援に役立てる。	1	6	0	0	100%
V 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備（設備、防災、衛生、安全面）を適切に行う。（各個人）	2	5	0	0	100%
② 職員間の情報伝達（報告・連絡・相談等）を円滑に行う。（各個人）	5	2	0	0	100%
③ 集金処理や会計処理を適切に行う。（各個人）	3	3	1	0	86%

令和4年度学校評価表（幼稚部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 100%

I 学習活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、先生や友達と一緒に、楽しく学校生活を送ることができましたか。	8	1	0	0	0	100%
② 日々の保育内容や行事は、お子様の興味、関心に合っていましたか。	7	2	0	0	0	100%
③ お子様は、この1年間で、できることが増えていますか。	6	3	0	0	0	100%
④ 教員は、聞こえや発音、お子様に応じたコミュニケーション手段（音声、手話、指文字、身振りサインなど）に関して、配慮していましたか。	8	1	0	0	0	100%
⑤ 懇談や連絡帳などによって、学校でのお子様の様子が適宜伝えられていましたか。	7	2	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様に関する相談に適切に応じることができていましたか。	7	2	0	0	0	100%
② 学習会や研修会等で、必要な情報を得ることができましたか。	4	2	2	0	1	67%

令和4年度学校評価表(小学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立豊学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 小学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握して障害の特性に応じた指導上の配慮を行い、学力や社会へ出るために必要な基本的な力の向上を図る。(各個人)	4	4	0	0	100%
② 学校生活全般を通して言語活動の場を設定し、コミュニケーションの拡充を図る。(部全体)	6	2	0	0	100%
③ 望ましい生活習慣の形成を通して、健康や安全に関心をもととする態度を育成する。(部全体)	6	2	0	0	100%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当した教科等の指導を、個別の指導計画にそって行い、計画通りにすすめる。(各個人)	1	7	0	0	100%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 授業の始まりと終わりの時刻を守る。(各個人)	2	6	0	0	100%
② 教科指導や自立活動、特別活動等の指導を通し、自ら考え動く力を育む。(部全体)	5	3	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	6	2	0	0	100%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 「キャリア教育」を意識し、将来を見据えた教育活動を実施する。(部全体)	1	7	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	4	3	1	0	88%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	4	4	0	0	100%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	2	6	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	6	2	0	0	100%

令和4年度学校評価表（小学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の各学期の目標（生活面・学習面）は、達成できましたか。	3	3	0	0	0	100%
② 教員はお子様の聞こえに配慮し、手指メディア（手話、指文字等）、ICT機器・教材（タブレット端末、パソコン等）、絵カードなどの視覚的な方法を活用した指導ができていましたか。	3	3	0	0	0	100%
③ 学級懇談会や連絡帳、学級通信等によって、学校でのお子様の状況が適切に伝えられていましたか。	4	0	2	0	0	67%
④ 教員は、通知表等において、お子様の能力や努力を適切に評価できていましたか。	4	2	0	0	0	100%
⑤ 教員は、日々の家庭での宿題・課題等を適切に提供して指導できていましたか。	4	2	0	0	0	100%

II その他	A	B	C	D	?	B以上
① 教員から、お子様の悩みや学習面、生活面での困難さ等について、適切なアドバイスがなされてきましたか。	3	3	0	0	0	100%
② 教員から進級や進学について、情報提供や相談が適切におこなわれていますか。	3	1	2	0	0	67%

令和4年度学校評価表(中学部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

I 中学部における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 一人一人の実態を把握し、障害の特性等に応じた指導上の配慮をより充実させ、生活力及び学力の向上を図る。(各個人)	1	9	0	0	100%
② 個々に応じた言語活動を通して、コミュニケーション能力を高め、人と関わる力を育てる。(部全体)	4	5	1	0	90%
③ 体験的な学習や交流及び共同学習を通して、主体的に考え、行動する力を育む。(部全体)	4	5	1	0	90%
II 教育課程における目標	A	B	C	D	B以上
① 担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	1	9	0	0	100%
III 学習指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① ICT機器等を活用して、生徒に分かりやすく、それぞれに合った指導方法を工夫改善する。(各個人)	4	6	0	0	100%
② 自立活動や総合的な学習の時間を有効に使い、コミュニケーション能力の向上を図る。(部全体)	4	6	0	0	100%
IV 生徒指導における全体目標	A	B	C	D	B以上
① 生徒・学級担任・保護者間での情報共有を図るため、連絡帳の活用・情報の発信・三者間のやりとりを行う。(各個人)	1	7	0	0	100%
② 生徒自身が障害を正しく理解し、肯定的に捉えられるよう、意識して取り組む。(部全体)	3	4	3	0	70%
V 進路指導における目標	A	B	C	D	B以上
① 総合的な学習の時間や学級活動で「進路」を取り上げ、将来を見据えた学習を実施する。(部全体)	2	8	0	0	100%
VI 管理、運営面における目標	A	B	C	D	B以上
① 各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	4	6	0	0	100%
② 各部内での職員間の情報伝達(報告・連絡・相談等)を円滑に行う。(各個人)	1	9	0	0	100%
③ 所属部以外の部へ必要な情報伝達を行う。(各個人)	1	8	0	0	100%
④ 各係として、保護者からの集金処理や業者との会計処理を適切に行う。(各個人)	2	7	0	0	100%

令和4年度授業評価(中学部生徒) ～集計表～

香川県立聾学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 86%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業は楽しく、安心して受けられる。	2	4	0
② 授業でわからないことについて先生に質問しやすい。	1	5	0
③ 先生は教え方をいろいろと工夫している。	3	2	1
④ 先生は生徒の意見や考え方をよく聞いてくれ、大切(たいせつ)にしてくれる。	2	4	0
自分自身に関する項目	◎	○	×
① 学習の準備や服装を整えて授業の始まりを待っている。	1	6	0
② 授業の内容を理解しようと努力している。	4	3	0
③ 授業中わからないところは質問している。	1	6	0
④ 他の人の発表をよく理解しようと努力している。	3	4	0
⑤ 宿題をきちんとしている。	4	3	0

令和4年度学校評価表（中学部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準
- A:十分にできている
- B:ほぼできている
- C:あまりできていない
- D:できていない
- ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様は、生活面学習面において目標を達成できましたか。	3	4	0	0	0	100%
② お子様は、個々に応じた言語活動の指導を通して、コミュニケーション面での成長が感じられましたか。	4	3	0	0	0	100%
③ お子様は、校外学習や交流学习、職場体験等の体験活動に意欲的に取り組むことができましたか。	5	2	0	0	0	100%
④ 教員は、お子様の実態に配慮して、手話や指文字、ICT機器等を用いたわかりやすい指導ができていますか。	3	4	0	0	0	100%
⑤ 教員は、通知表等でお子様の能力や努力を適正に評価していますか。	5	2	0	0	0	100%
⑥ 学級懇談会や連絡帳等によって学校と家庭との情報交換等を適宜行うことができていますか。	4	3	0	0	0	100%
⑦ お子様の進路について、情報提供や相談が適切に行われていますか。	3	1	0	1	2	57%

令和4年度学校評価表(高等部自己評価) ～集計表～

〈教員による評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分に達成している。全く問題はない。
 B:ほぼ達成している。特に問題はない。
 C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。
 D:達成していない。改善・工夫が必要である。

回収率 100%

Ⅰ 高等部における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	一人一人に応じた学習内容を設定・展開し、現場実習等校外での活動を充実し、進路目標の実現を図る。(部全体)	5	7	0	0	100%
②	学校生活全般を通して活発なコミュニケーションの場を設け、卒業後の望ましい対人関係の構築を図ることができる姿勢を育成する。(部全体)	3	9	0	0	100%
③	部活動や各種検定試験による自主的な活動を重視し、生涯学習・スポーツにつながるような意欲・態度を育てる。(部全体)	4	7	1	0	92%
Ⅱ 学習指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	担当教科等の指導を個別の指導計画に沿って行い、学力等の向上を図る。(各個人)	3	8	0	1	92%
②	個々の進路希望に応じた学力の向上とそれに対応した具体的な目標及び内容を設定し取り組ませる。(部全体)	3	9	0	0	100%
③	ICT機器等を活用した授業を推進し、生徒が分かる授業を目指したり、生徒へ活用を促したりする。(部全体)	4	8	0	0	100%
Ⅲ 生徒指導における全体目標		A	B	C	D	B以上
①	いじめ等が生じないように、相手の立場に立ったコミュニケーションができるようになるなど、思いやりのある人間性を育成する。(部全体)	5	7	0	0	100%
②	学校のルールを守り、服装等を整え、規律正しい生活が送れるよう指導する。(部全体)	3	9	0	0	100%
Ⅳ 進路指導における目標		A	B	C	D	B以上
①	生徒一人一人の学習意欲を高め、個別の進路に対応する学力を身につけ、進路希望の実現を図る。(部全体)	4	8	0	0	100%
②	朝学や補習を効率よく実施し、個々の生徒の能力を伸ばすなど、確かな学力の向上を図る。(部全体)	2	9	1	0	92%
Ⅴ 管理、運営面における目標		A	B	C	D	B以上
①	各担当区域の環境整備(設備、防災、衛生、安全面)を適切に行う。(各個人)	6	6	0	0	100%
②	部内での職員間の情報伝達や意見交換を行い、共通理解を図る。(各個人)	2	8	1	1	83%

令和5年1月

令和4年度授業評価(高等部生徒) まとめ～集計表～

香川県立豊学校

- ・とてもできている、はいと思う場合は、「◎」と書いてください。
- ・ほぼできている、まあまあと思う場合は、「○」と書いてください。
- ・あまりできていないと思う場合は、「×」と書いてください。

回収率 100%

授業に関する項目	◎	○	×
① 授業の進む速さはちょうどよい。	14	7	1
② 先生の話し方(手話、指文字等も含む)がはっきりして、言っていることがわかりやすい。	18	2	2
③ 先生は自分や友だちの意見や考え方をよく聴いてくれ、大切にしてくれている。	15	6	1
④ 板書は見やすく、わかりやすい。	18	2	1
⑤ 先生は目で見えてわかりやすい資料やビデオ、コンピュータ等をよく使ってくれる。	17	3	2
⑥ 先生がつけている成績(通知表)は納得できる。	12	9	1
⑦ 宿題の量や内容は自分の成績向上のためになっている。	8	7	1

自分自身に関する項目	◎	○	×
① 教材(服装等含む)を準備して授業の始まりを待っている。	10	11	1
② 私語などをせず、先生の説明を理解しようと努力している。	14	3	4
③ 授業中わからないところは質問している。	6	8	9
④ 他の人の発表を理解しようと努力している。	9	11	2
⑤ 予習・復習や宿題をきちんとしている。	5	6	5

アンケート対象教科 { 類型Ⅰ:国・数・理・社・英
 類型Ⅱ:国・数

令和4年度学校評価表（高等部 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準 A:十分にできている
 B:ほぼできている
 C:あまりできていない
 D:できていない
 ?:わからない

回収率 100%

I 学習指導について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様はホームルーム等で立てた、各学期の目標を、達成しようとしていると思いますか。	1	4	0	0	1	83%
② 学校生活全般にわたって、個に応じた指導ができていると思いますか。	1	3	0	2	0	67%
③ 通知表等において、お子様の成果や努力が適正に評価されていましたか。	1	4	0	0	1	83%
④ コミュニケーション面での指導が行われ、対人関係面でお子様の成長が感じられましたか。	1	3	0	2	0	67%

II 部活動について	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の目標に応じて、個の能力を十分に発揮できるよう指導されていると思いますか。	1	3	0	1	1	67%

III その他	A	B	C	D	?	B以上
① お子様の学校生活での悩みや相談等について、教職員が適切な対応をしていると思いますか。	1	3	0	2	0	67%
② お子様の進路について、情報提供や個に応じた指導が適切になされていると思いますか。	2	3	0	1	0	83%

令和4年度学校評価表（学校教育活動 保護者アンケート）～集計表～

〈保護者による 学校教育活動についての評価〉

香川県立聾学校

- 評価基準
- A:十分にできている
- B:ほぼできている
- C:あまりできていない
- D:できていない
- ?:わからない

回収率 104%

I 人権・同和教育の取り組みについて	A	B	C	D	?	B以上
① 教職員は、教育活動全般においてお子様の人権に配慮した指導を行っていますか。	14	10	1	0	1	92%
② 毎学期発行の『響』から、人権・同和教育に関する情報を得られていますか。	11	13	0	1	1	92%
II 学校保健活動について	A	B	C	D	?	B以上
① けがや病気に対する救急処置や健康診断、健康相談、保健指導等の保健室の役割が十分なされていますか。	19	6	1	1	0	93%
② 給食は幼児児童生徒にとって適切なものになっていますか（セレクト給食、給食だより、給食週間等）。	19	7	0	0	1	96%
③ スクールカウンセラーに相談したい時に気軽に相談できそうですか（スクールカウンセラー通信の発行発行、掲示板を活用したスクールカウンセラー来校日のお知らせ等）。	12	8	4	2	1	74%
III ホームページについて	A	B	C	D	?	B以上
① 聾学校の取り組みを広く知らせる内容・構成になっていますか。	10	10	2	1	4	74%

令和4年度学校評価表(他分掌評価) ～集計表～

＜教員による評価＞

○評価基準

A:十分に達成している。全く問題はない。

B:ほぼ達成している。特に問題はない。

C:あまり達成していない。問題点を整理する必要がある。

D:達成していない。改善・工夫が必要である。

分掌名	評価項目	A	B	C	D	B以上[%]
教務部	各部で諸表簿等の手引を整理し、書き方の周知徹底と確認を行う。	15	23	0	0	100%
研究部	中四聾研(香川大会)に向けて、計画的に部内研や報告会を実施し、各部で実践研究を進められるようにする。	14	24	1	0	97%
人権・同和教育部	本校の人権・同和教育やさまざまな人権課題についての保護者の理解を促すことを目的として、『響』の内容を充実させる。	15	30	1	0	98%
生徒指導部	幼児児童生徒が安心して落ち着いた学校生活を送ることができるよう、各種安全教室(交通安全・携帯安全利用等)を効果的に実施する。 児童生徒が主体的に活動し自己有用感が育つよう、各部の実態に応じて学活や児童会生徒会活動を計画実施する。	12	29	0	0	100%
メディア教育	視聴覚機器やタブレット端末等の使い方についての周知や学習会を行い、授業や校務などで効果的に活用できるようにする。	19	21	0	0	100%
進路指導部	進路希望調査の範囲を広げ、生徒それぞれの希望や実態に合った進路実現をするため、実習先の新規開拓や実習後の事後指導の充実を図る。	17	27	0	0	100%
保健部	安心安全に学校生活が送れるよう感染症予防対策を徹底し、毎日の健康観察記録を呼びかけ、継続実施することで、担任と連携して幼児児童生徒の健康状態の把握と管理を行う。	23	19	0	0	100%
環境管理部	幼児児童生徒が安全安心な学校生活を送るために、各避難訓練を計画的に実施し、発災時の行動を全職員が考えることができるようにする。	17	27	1	0	98%
総務部	保護者と連携をはかりながら、本校のPTA活動目標と実情に合わせた活動を計画・実施する。	18	27	0	0	100%
きこえとことばの相談支援センター	職員会議等で研修会や交流行事等の報告を行い、きこえとことばの相談支援センターの活動について理解を進める。	21	21	0	0	100%
寮務部	(担任) 寄宿舎の活動や舎生の状況について、学校、家庭と連絡を密にとりながら、共通理解を図る。 (担任以外) 寄宿舎での活動や取り組みについて、日報による周知や掲示物を利用して、情報を発信し理解推進を図る。	22	13	0	0	100%